

平成 22 年度第 5 回日本地熱学会評議員会議事録

日 時：平成 22 年 10 月 21 日（木）13:00－16:30

場 所：産業技術総合研究所 秋葉原オフィス 1101 大会議室

出席者：江原会長

安達，當舎，新堀，野田，花野，藤光，安川 各委員長

石戸，海江田，梶原，中田，浜田，村岡，森山 各評議員

委任状提出 2 名

矢野，山田 監事

佐藤 庶務幹事

河合 事務局

議事：

1. 前回議事録の確認

評議員MLにおいて確定した前回評議員会議事録を確認した。

2. 入退会者の承認

前回以降，正会員 14 名の入会，正会員 5 名の退会，ならびに正会員 2 名の除名を承認した。この結果，平成 22 年 10 月 21 日現在の会員数は，正会員および名誉会員 547 名，賛助会員 66 名（213 口）となった。

3. 会計報告

平成 22 年度 4/4 期会計収支状況が報告され，概ね予算通り進捗しているとの報告があった。

4. 平成 22 年大会関係

平成 22 年大会報告内容について審議され，承認された。

5. 編集委員会

学会誌 32 巻 4 号の構成内容について説明があった。手持ち原稿について，現在，4 号掲載論文以外に受理原稿 2 件あるが，その他に手持ち論文がないため，是非投稿をお願いしたいとのコメントがあった。また，平成 23 年度予算案について経理委員会へ提出したこと，RE2010 の特集号を準備中であること，について報告があった。

6. 行事委員会

（報告事項）

つくば大会の準備状況について説明があり，大会での講演日程は学会ホームページで公開しており閲覧可能であるとの報告があった。なお，発表件数は昨年の京都大会より多くなっている。また，大会参加登録料は前回の京都大会と同様とするとの報告があった。

（審議事項）

平成 23 年大会会場について審議された。

7. 総務委員会

(報告事項)

- 1) 火力原子力発電技術協会「第 37 回新技術発表会」発表募集について
- 2) 権利委託学協会現況調査に関するお願い（依頼）
- 3) 日本温泉科学会 70 周年記念式典のご案内
- 4) 第 16 回日本地層評価シンポジウムのご案内

(審議事項)

シニア会員制度の制度案について総務委員会での検討結果が報告された。今後、本検討案をもとにシニア会員制度の導入に向けて検討を進めることとされた。

8. 選挙管理委員会

第 17 期評議員選挙開票結果、ならびに同会長選挙開票結果報告があった。

9. 広報委員会

地熱学会への問い合わせ等への対応方法（案）について報告があった。今後、本案をもとに対応ガイドラインが必要と考えられることから、次期広報委員会への引き継ぎ事項とされた。

10. その他

- 1) 地熱発電と温泉との共生を検討する委員会について職務終了に伴い廃止するとの報告があった。
- 2) 平成 22 年大会特別企画“持続可能な地熱開発・利用のための計測・管理技術 ―そのボトルネックとブレイクスルー―我が国の R&D はどうあるべきか”について関連団体への開催案内について報告があった。
- 3) 日本地球惑星科学連合より日本学術会議が進めている“大規模研究計画”に関する調査依頼があり、日本地熱学会として、“地熱大規模研究計画”立案の必要性について提案があった。この“大規模研究計画”には予算的な裏付けのあるものではないが、地熱 R&D プロジェクトが日本学術会議のマスタープランとして列記されることの将来的な意義を鑑み、今後 11 月上旬を目途に取りまとめ提出することとされた。
- 4) 現在、地熱発電の普及の阻害要因となっている規制の緩和措置について内閣府等を通じて規制改革への働きかけを行っており、規制緩和に関する要望があれば連絡いただきたいとの報告があった。
- 5) 学会事務局移行への検討を進めるため、大学生協学会支援センターより業務内容のヒアリングを行った。今後、各委員会にて事務局移行に伴う業務について検討を行うこととされた。また、学会事務局移行に伴う特別委員会設置についての提案があった。

次回評議員会は 11 月 25 日（木）につくば大会で開催されることとされた。

以上